

動労千葉の'86年冬季販売にご協力を

日刊
動労千葉

86. 11. 7

No. 2400

冬季物品販売へのご協力のおねがい

厳しい情勢の中で、日々のたたかひに奮闘されている皆様から敬意を表します。

また、私たち動労千葉の夏季物品販売に際しましては、千葉県内をはじめ全国の皆様方に多大なご支援とご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

私たちはたたかうために、物販体制をより強化して、引き続き冬季販売運動に取り組んでまいります。つきましては、皆様方の一層のご支援ご協力を心からお願いたします。

さて、私たち国鉄労働者を取りまく情勢は一段と厳しいものがあります。自民党・中曽根政権は先の総選挙における三〇四議席を背景に、今臨時国会で国鉄「改革」法案を強行成立させようとしています。国鉄当局も「人材活用センター」という強制収容所”に国鉄労働者を送り込み、来る「六一・一ダイ改」においては二万五千人もの大合理化の強行を打ち出しています。まさに、労働組合・労働運動を解体することを唯一の目的に、不法・不当を平然と力で強行するやりかたに私たちは心の底からの怒りを禁じえません。

こうした情勢下で、私たち動労千葉は八月三十一日（九月一日に第十一回定期大会を開催し、国鉄「分割・民営化」反対、十万人首切り阻止、「六一・一ダイ改」阻止に向け第三波のストライキも辞さずたたかう方針を確立し、毅然としてこの攻撃と対決していく所存であります。

この分割・民営化攻撃は単に国鉄労働者へのみかけられた攻撃ではなく、反動・中曽根内閣の「戦後政治の総決算」、憲法改悪・軍事大国化攻撃の中心をなす攻撃として、全労働者に向けられたものであります。あるいはまた、国鉄の二百兆円ともいわれる膨大な資産を、一部独占が喰いものにしようとする大陰謀なのです。さらに、動労「本部」や真国労は中曽根・杉浦の忠実な先兵となって、十万人の首切りに協力し、国労解体に全力を挙げています。労働者の団結を破壊し、他人を犠牲にして自分だけ生きのびたいとする運動は決して許せるものではありません。

したがって私たちのたたかひは、こうした中曽根反動政治との真正面からのたたかひであります。たたかひは、たたかひ抜いて勝利する以外に、全労働者の未来はないと確信します。今日の状況はたたかうことよって反動政治を打ち破るチャンスでもあります。国労の労働者は耐えに耐えたすえに、十月の臨時全国大会で中央本部の「大胆な妥協」路線を見事に粉碎して、たたかう指導部を選出しました。私たちはたたかう国労の労働者と連帯してたたかひ抜き、中曽根反動政治を国鉄解体攻撃を粉碎して、必ず勝利する決意であります。

そのために二波のストライキに対する不当な処分、解雇者二十八名、四百名の処分者を守り抜いていかなければなりません。その財政基盤の確立のために開始した夏季物品販売の成功は全組合員に大きな激励となり、自信と確信をあたえ、動労千葉の新たなたたかひの原動力となっています。

冬季物品販売におきましても、千葉県内はもとより、全国の皆様の一層のご支援ご協力を心から訴え申しあげます。

一九八六年 十月

各位殿

国鉄千葉動力車労働組合

執行委員長 中野 洋



十月三日 団結祭で販売中の協販部

国鉄分割・民営化反対！ 10万人首切りを許すな！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）公衆（〇四七）二二七二〇七